

屋久島

中央中学校

二年

矢野

大輔

屋久島は、一九三三年に世界遺産に登録されました。そして樹齢七二〇〇年といわれる縄文杉をはじめとする屋久杉でも有名な島です。面積は、約五〇〇平方キロで、日本では七番目に大きい島です。そしてこの島のすごい所は、九州から北海道の気候が一つの島で見られるという事です。さて先ほど出てきた縄文杉について紹介します。

屋久島町立 中央中学校

縄文杉は、一九六六年五月樹高三〇メートル、根廻り四三メートルという姿で発見されました。発見された当時は、発見者の名前をとって大岩杉と呼ばれていたそうです。しかし取材した新聞記者が縄文土器の火焰土器に似ているということからこの縄文杉という名前を付けられたと言われているそうです。推定樹齢は七二〇〇年で世界最古の植物ともいわれています。現存、縄文杉は一般の人の手には触れることができません。その理由は、木の

廻りを皆伐されたため、多量の雨と強風により土が流され根が露出し、さらには登山者が根を踏んずけたりするという状況が起きています。現存は、木の十五メートルほど手前に設けられた高台から望めるようになって

ています。次に、大川の滝について紹介します。大川の滝は、照葉樹林と粘板岩の崖を落ちる落差八メートルの滝で日本の滝一〇〇選にも選ばれていきます。吹き上がるしぶきを浴びながら

屋久島町立 中央中学校

ら滝壺の真下まで近づけるので、滝のガイナミックさを感ずることが出来ます。午後三時頃には滝にかがる虹が見えることもあります。そして滝と言えば、千尋の滝もあります。千尋の滝は、屋久島本体の花こう岩を削って落ちる滝で落差は約六〇メートル、V字型になっています。た巨大な花こう岩の中央を流れ落ちているため、滝が小さく見えるほどのスケールに圧倒されます。滝の左手に見える壁は二〇〇メートル×四〇〇メートルの花こう岩の一枚岩

で、千人が手を広げたほどの大きさがあるといふこと、人が両手を広げた長さを一尋と呼ぶことから、千人分、千尋の滝と名付けられたそうです。

そして、屋久島と言えば僕は、きれいな山だと思えます。なので、いまから山を紹介します。まず最初は、宮元浦岳です。標高は、九三六メートルもあり九州で最も高い山です。頂上からの展望は三六〇度の大パノラマです。次に永田岳です。標高は、一八八六メートル

屋久島町立 中央中学校

で九州で二番目に高い山です。頂上付近は巨岩からなり、十五メートルの大きな岩を登って山頂に到達します。山頂から見える障子尾根の岩稜は屋久島きつこの山岳景勝地です。そして栗生岳です。標高は一八六七メートルで九州で三番目に高い山です。宮元浦岳と翁岳の間に位置しています。次に黒味岳です。黒味岳は標高一八三一メートルで屋久島山岳の好展望地です。山頂は巨岩からなり、屋久島の主稜を間近に眺められます。

上記の四峰を御岳といい、岳参りの代表的な山というところで、とても有名です。ほかにも色々な山がたくさんあります。ぜひ、一度屋久島にきて登ってみてください。

最後に、この屋久島は、自然にすごく恵まられていて、色々な絶景、色々な食事をすることができ、とてもすばらしい島です。僕は、この島で生まれて、育つことも幸せです。なので屋久島にきたことがない人、行ってみたいと思います。いる人は、ぜひ、きてください。

屋久島町立 中央中学校